

令和2年度実施事業 応募団体に対するアンケート まとめ

1 調査の内容

(1)目的

本制度の成果検証と改善を図るため、募集から審査までの手法が適切であるかを把握するため

(2)調査対象

令和2年度実施事業を応募した7団体のうち、採択候補事業に選定されている次の4団体(順不同)

- ・NPO法人癒しの森づくり
- ・段階食について考える「もがな」
- ・旭川フレイルプロジェクト
- ・旭川FP倶楽部

(3)調査期間

令和2年2月7日(金)～2月28日(金)

2 調査結果

回答数 4団体中4件(回収率 100%)

3 集計結果の詳細

Q1. この制度をどこで知りましたか。(複数回答可)

選択項目	件数(件)	→団体別	A団体	B団体	C団体	D団体
募集案内	0					
チラシ	2				1	1
ポスター	0					
広報誌	2		1		1	
ホームページ	0					
Facebook	0					
CoCoDe通信	2		1		1	
知人からの紹介	2			1		1
その他	0					

Q2. 募集時期(平成31年4月から令和元年8月まで)は適切でしたか。(択一)

選択項目	件数(件)
適切だった	3
もう少し早いほうが良かった	1
もう少し遅いほうが良かった	0

具体的な内容 | ・3月～8月

Q3. 募集説明会(平成31年4月20日⊕開催)には参加されましたか。(択一)

選択項目	件数(件)
参加した	1
参加しなかった	3

「参加しなかった」の場合、理由は何ですか。(択一)

選択項目	件数(件)
都合が合わなかったから	1
知らなかったから	0
募集内容を理解しているため 不要だと思ったから	1
その他	1

具体的な内容 | 事業内容が固まっていなかった。

Q4. 市民活動課と市民活動交流センターCoCoDeIによる提案相談会(事業内容、提案書類の書き方や協働部署に関する相談)が受け付けられることを知っていましたか。(択一)

選択項目	件数(件)
知っていた	4
知らなかった	0

Q5. (1)応募時に提出する提案書類の様式は書きやすかったですか。(択一)

選択項目	件数(件)
書きやすかった	3
ふつう	0
書きにくかった	1

具体的な内容	・民間と比べると書くことが多い
--------	-----------------

Q5. (2)提案書類のボリュームは適切でしたか。(択一)

選択項目	件数(件)
多かった	0
ちょうど良かった	4
足りなかった	0

Q6. (1)協働に当たって、市担当部署との情報共有や内容検討のための調整について、打合せの回数は適切でしたか。(択一)

選択項目	件数(件)
多かった	0
ちょうど良かった	4
足りなかった	0

Q6. (2)打合せの時期は適切でしたか。(択一)

選択項目	件数(件)
良かった	4
良くなかった	0

Q7. 公開プレゼンテーションの発表時間は適切でしたか。(択一)

選択項目	件数(件)
良かった	4
良くなかった	0

Q8.

(1)審査委員のアドバイスや、公開プレゼンテーションでの質疑応答は、提案事業や今後の活動を検討する上で参考になりましたか。(択一)

選択項目	件数(件)
参考になった	4
どちらとも言えない	0
あまり参考にならなかった	0

Q9. 応募から公開プレゼンまで本事業に参加した感想等をご記入ください。(記述)

企画の趣旨から多くの市民対象に、継続できる内容の方が意味あると思ったが、焦点が絞れないとの理由でどの部署も受けてもらえず結果として窓口の市民活動課に苦勞かけたのが心苦しい。提案内容確認し、このようにすれば一緒にやりたいと前向きな取り組み姿勢があつてもいいのではと思います、各部署はこの旭川市のこの企画の趣旨を理解してないのでは思う場面がある。受けてくれた部署と市民活動課には感謝しています。

団体の想いに担当部署の皆様が共感してくださり、打ち合わせの度にたくさんのアドバイスをいただき団体だけでは考えつかなかった提案やご指摘を受け、無事公開プレゼンテーションを終えることができ、とてもよい経験になりました。企画提案書を作ることに慣れておらず思いの外時間を要してしまい担当部署の皆様にはご迷惑をおかけしたことと思います。また、打ち合わせの希望日数も少ない中予定を合わせていただく等ご尽力くださりとても感謝しております。

提案事業に対し、担当課の方々には行政としての立場からとても丁寧に答えて頂きました。事業の目的が一致し、効果的な運用ができると感じました。

これまで団体の活動の意義などを客観的に考える機会が少なかったが、提案を通じて資料を作成する過程や、担当課との打ち合わせ、公開プレゼンテーションにおける質疑等を通じて今後の活動について考えるきっかけにもなった。

提案書類の様式が「書きにくかった」という回答について

具体的には「民間と比べて書くことが多い」という理由からでした。

そこで、回答した団体にお願ひし、利用したことのある民間助成制度を教えてください、旭川市様式と比較してみました。

結論、書類の種類、数は旭川市様式の方が比較的多いです。

【旭川市様式にあって他制度様式にないもの】

- ・団体の規約，定款等
- ・役員，会員名簿
- ・直近の事業年度の決算，予算書

しかしこれらの書類は、旭川市補助金交付基準や審査要領における審査基準を満たすかどうか確認するのに必要です。

【旭川市補助金交付基準：「適格性」の判断基準】

イ 団体の運営・会計処理等

- ・団体の会計処理が適正に行われていること
- ・団体の設立目的，事業内容と補助の目的との整合がとれていること。
- ・団体の決算における繰越金（剰余金）が，補助しようとする額から判断し，妥当であること

【市民の企画提案による協働のまちづくり事業審査要領】

事業実施能力…提案団体には事業実施に必要な知識，技術，体制等があり，効率よく事業を実施できると認められるか。

このことから，書類の省略はせずこのままで進めたいと考えますが，今後市民協働推進会議で検討の上で再度見直す余地が出てくるかもしれません。